

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	神林久雄
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3518	
事務事業名		4213 道路改良事業（単独）										
所 属		200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策		06033300 橋や道路整備の推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
事 業		040000 道路改良事業（単独）										
事業目的						事業概要・効果						
市道の整備のうち市単事業で実施するものは補助事業以外の幹線道路と生活道路等小幅員の道路整備であり地域の要望等により必要性や緊急性などを考慮して計画的に整備を図る。また、補助事業採択に向け測量設計を先行しながら、地元合意を形成して行きたい。						市道は幹線道路をはじめ地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たしている。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
市道改良工事、歩道設置整備事業	市道改良工事、歩道設置整備事業
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指 標 名 道路整備及び修繕の対策事業箇所						
算 式						単位 箇所
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		48,418	84,000
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	10,000
	その他	0	34,000
一般財源		48,418	40,000
人 員 数 (人)	正規職員	0.6	0.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	4,324.8	6,487.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,324.8	6,487.2
市民一人当たりの経費		1.0	1.7
総額		52,742.8	90,487.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	6,662	測量・設計委託
15節 工事請負費	18,500	工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	23,256	立木等補償

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	6,000	測量・設計委託
15節 工事請負費	58,000	工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	20,000	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	住民要望に対して、補助事業では対応できない、きめ細かな道路等の整備を実施する。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	補助事業と組み合わせて実施することにより、住民要望に対して効率的に対応することができる。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや悪化
評価コメント	予算の確保に苦慮している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

予算の確保が課題である。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
財源を確保し、生活道路を中心に、必要性・緊急性を考慮し、地域要望に対応していく。また、補助事業と連携し、事業を効率的に進めていく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
地域住民の生活に密着している生活道路の整備を必要性や緊急度の高い箇所から計画的に進めていく	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	